

【教育目標】

豊かな心を持ち 学び続ける たくましい子

3つの約束の徹底

- 1 自分が人からされていやなことはしない・言わない。
- 2 自分の能力は、伸ばせると信じ、失敗してもやり抜く。
- 3 良いことをする勇気・悪いことをしない勇気をもつ。

教職員の資質・能力の向上

授業力 統率力 対応力
長所伸展 立ち居・振る舞い

連携

保護者 地域住民 中学校区
保育園 関係機関

学校は、子どもも教職員も、
勉強するところ・仲よくするところ

知育

◆ 学び続ける子

徳育

◆ 豊かな心をもつ子

体育

◆ たくましい子

成果（☆達成目標）

①国語・算数の単元テストで思考力・判断力・表現力領域が前学期の平均を上回るか、平均が80%を超える児童が全校の70%以上となるよう授業改善を図る。
②学期に1回の家庭学習強調習慣で、学年の家庭学習目標時間の達成が80%以上となるよう学習習慣の確立を図る。

①「なかよしアンケート(各学期末)」の「思いやり」の項目で、肯定的回答児童を80%以上にする。
②「なかよしアンケート(各学期末)」「保護者アンケート(各学期末)」の「あいさつ」の項目で、肯定的回答児童、保護者とも80%以上にする。

①なかよしアンケートの「進んで体を動かした」の肯定的評価を90%以上にする。
②食事・睡眠の大切さを意識できる子どもを85%以上にする。

○教育活動 ◎運営活動

<重点をかける活動>

○教科の特質に応じて育まれる見方・考え方を働かせ、子どもの追求意欲が継続する授業を実施する。
○各学年の家庭学習目標時間を知らせ、個別の学習時間帯を生活に位置づけさせるとともに、「家庭学習ガイド」を配付し自主学習の充実を図る。
◎月に1回以上研修日を設け、日々の授業改善につなげる。
◎学期に1回以上便りや懇談会等で家庭学習について保護者と情報交換を行い、協働して家庭学習に取り組ませる。

<重点をかける活動>

○思いやり・人権に関わる道徳の授業を保護者に年1回以上公開する。
○各学期、人間関係づくり(エンカウンターやソーシャルスキル等)の学級活動を実施する。
◎「なかよしアンケート」や「心の健康チェック」をもとに教育相談を実施するとともに、全教職員で情報を共有する。
◎保護者に活動の様子を便り等で伝えたり、参加を呼びかけたりする。

<重点をかける活動>

○食事・睡眠の大切さを学ぶ場を設定する。
○メディアコントロールに関する研修を行い、生活習慣を見直す指導を実施する。
◎運動ができる喜びを体感できるように、スモールステップを大切に授業づくり研修を実施する。
◎学校課題の解決に向け、養護教諭や栄養教諭と連携した研修を実施する。

